

<令和6年度 運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	一般社団法人横浜市都筑区医師会	事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム
所在地	(〒 224 - 0015) 横浜市都筑区牛久保西 1-20-21		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

《当事業所のケアの理念》
利用者・ご家族の幸せの実現のために『その人の「生きる」を支える』 ～寄り添い・理解し・尊重する～」を目指しています。

《特色》

- ・平均要介護度 4.0 経管栄養注入や喀痰吸引など医療機器を使用している方、がんや非がんのターミナル期の看取りなど、医療ニーズの高い利用者を受け入れます。
- ・介護と看護の連携を高めて、自立した専門職の育成を目指しています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 2 月 17 日	従業者等自己評価 実施人数	(28) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 3 月 14 日	出席人数（合計）	(12) 人 ※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☐ 自事業所職員 (6 人) ☐ 市町村職員 (1 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (1 人) ☐ 利用者 (0 人) ☐ 利用者の家族 (0 人) ☐ 知見を有する者 (3 人) ☐ その他 (人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<u>1.について</u> - 全体研修や個別面談時、繰り返し職員への周知 - 職員に対し、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた都筑区アクションプランの共有 <u>3.4.について</u> - 各職員がビジョン・目標の設定、目標達成のための研修計画の策定及び実施。定期的面談において、達成度を確認する。 - オンライン研修の活用 <u>10.について</u> - BCP マニュアルに沿って、非常災害時の対応に関する研修及び訓練の実施(年 2 回)	<u>1.について</u> - 全体研修での伝達 - 事業所内に掲示 <u>3.4.について</u> - 内部研修の実施、外部研修（お茶の水ケア/ナースिंगスキル、認知症介護リーダー研修）への参加。 <u>10.について</u> - BCP 作成済み。災害時の対応研修及び訓練、感染症の対応研修及び訓練(嘔吐時の処理方法、対応など)を実施。	<u>1.について</u> 「よくできている」繰り返しケアの理念や看多機に求められていることを発信しており、理解できている。 - 前回より改善されている点も多くあると感じる。スタッフの数の充実ができると流れもよくなるのではないかと思います。 <u>3.4.について</u> 「よくできている」内部研修の実施、オンライン研修への参加、動画研修の利用ができている。 <u>10.について</u> 「よくできている」災害が起こる時間帯、場面に応じて対応する必要がある、BCP マニュアルをさらにブラッシュアップしていく必要がある。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<u>11～18.について</u> 合同（看護職/介護職）カンファレンスの継続開催、ツール使用による情報共有の継続により、目標達成に向けて計画作成できる。	<u>11～18.について</u> 「よくできている」職員間でアセスメントしたことを共有している。 - 利用者の状況変化をいち早く察知、アセスメントし、ケアやサービスにつなげ

	・利用者の状況変化に応じ、適宜看護職から介護職への指示の継続。 ・医療ケアについての研修会開催 <u>27.について</u> ・主治医から説明する予後予測や症状経過などについて確認し、本人家族がどう受け止めや意向についての確認を継続して行う	共通理解を深めた。また、各職種のカンファレンスも週1回開催し、専門的な視点からの課題整理や情報共有を行った。 <u>27.について</u> ・症状を見ながらタイミングを逃さないよう家族へ病状、今後起こりうることなど説明している。その後も家族の反応今後の希望などを記録へ記載している。	ていくことがまだ不十分。 <u>27.について</u> ・「よくできている」看取りについて、状況の経過とともに主治医とともに、療養場所、治療方針等を確認できており、各スタッフと共有できている。
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<u>31 について</u> ・運営推進会議等において、事例紹介し、サービス実施にあたり課題となっていることを情報提供し共有する。それぞれが持っている情報を提供してもらう。	<u>31 について</u> ・運営推進会議(2 か月に 1 回)、看/小多機連絡会(不定期)、認知症連絡会等において、事例紹介や情報共有した。 都筑区多職種オンラインの集いにて「看多機サービス」について情報提供を実施 <u>32 について</u> ・ホームページの掲載	<u>31 について</u> ・「よくできている」看護との連携もよくできており安心。 ・推進会議における事例紹介により、相互理解を深め、制度の活用方法や、工夫などについて意見交換ができ、利用者のケアに活かされている。 <u>32 について</u> ・「よくできている」
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<u>33 について</u> ・地域住民にむけて、当事業所の果たす役割や看多機サービスの概要について説明会の実施 <u>38 について</u> ・職員に対し、「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた都筑区アクションプラン」	<u>33 について</u> ・演奏会を一般公開し、パンフレットを配布 ・地域住民向けに 3 月に実施予定。 <u>38 について</u> ・ケアネットつづき主催「都筑区アクションプランの 5 本柱」の研修参加。	<u>33 について</u> ・「おおよそできている」さらに、地域に開かれた施設としての努力が必要。もっと啓発活動の実施していく必要あり。 <u>38 について</u> ・「よくできている」地域包括ケアシステムの構築方針や計画内容の理解を今後も

		ラン」の共有を図る		進める必要あり。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<u>42～44 について</u> ・本人、家族が安心して療養生活が送れるよう今後も丁寧なサービス提供の継続ができる。 ・月 1 回のモニタリングの実施の継続 ・サービス終了時のアンケートの実施の継続	<u>42～44 について</u> ・スタッフ間で情報共有を徹底し、サービスの質の向上に努めた。 ・毎月の訪問時に利用者の体調・生活状況・サービスの満足度を詳細に確認。 ・平成 5 年度に回収したアンケートを分析し、改善点をスタッフ間で共有	<u>42～44 について</u> ・「よくできている」利用者および家族との定期および随時コミュニケーションをとり、不安や疑問に迅速に対応。 - 主治医と情報共有し 24 時間対応で対応。 - 利用者やその家族は安心感が得られていると思う。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	・繰り返しケアの理念や看多機の役割を発信できており、前回より多くの改善が見られる。スタッフ数の充実により、さらにスムーズな流れが期待できるのではないかな。 ・内部研修・オンライン研修・動画研修を活用し、研修体制が整っている。 ・災害発生時の対応強化が求められるため、BCP マニュアルのさらなるブラッシュアップが必要。	<u>3.について</u> ・チーム内のコミュニケーション強化⇒事例検討会の充実 ・各スタッフのキャリアパスの明確化/再設定 ・看多機の特徴を活かした育成⇒地域の医療機関や行政と連携し、職員が地域包括ケアの担い手として成長できる機会を提供(各連絡会などへの参加) <u>8.について</u> ・記録の徹底と迅速な情報共有 ⇒スタッフ間の情報共有ツールの利用継続 <u>9.について</u> ・医療・ケア事故の予防・対策の理解を深める ⇒リスクマネジメントセミナーへの参加(内部/オンライン) ⇒安全ルールの理解を深めるための研修開催

			・車両事故防止のための安全運転教育の実施 <u>10.について</u> ・BCP についての研修及び訓練の定期的実施、内容の再検討。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<u>11～18 について</u> 職員間でのアセスメントの共有できている。 利用者の状況変化の早期察知・アセスメント・ケアやサービスへの反映の強化が必要 <u>27 について</u> 終末期ケアにおいて、多職種との情報共有ができており、本人、家族に寄り添って支援できている。	<u>11,12,13 について</u> ・各職員のアセスメント力の強化⇒アセスメントについての勉強会やオンライン研修等の活用、助言、指導 <u>19,20,21,について</u> ・多職種での情報共有の強化 ⇒電子カルテへの記入の徹底、各職員への助言、指導 ⇒記録の具体例を共有し、質の向上を図る
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<u>31 について</u> 推進会議における事例紹介により、相互理解を深め、制度の活用方法や、工夫などについて意見交換ができ、利用者のケアに活かされている。	<u>31.について</u> ・運営推進会議等における事例紹介/検討の継続
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<u>33 について</u> 地域に開かれた施設としての取り組み強化と啓発活動の推進が必要 <u>38 について</u> 地域包括ケアシステムの構築方針や計画内容についてのさらに理解を深める必要がある	<u>33 について</u> ・地域住民への情報発信⇒住民向け説明会などの開催 ・医療/介護関係者との連携強化⇒事例共有会への参加継続、医療機関/地域包括支援センター/訪問看護ステーション/ケアマネとの連携強化
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・利用者やその家族に対して、定期的かつ随時のコミュニケーションを通じて不安や疑問に迅速に対応し、主治医とも連携しながら 24 時間体制で支援を行っている。 ・安心して過ごせる環境を提供するため、声かけや身体ケアに工夫を凝らし、痛みや不快感の軽減に努めている。 ・医療依存度の高い利用者にも適切なケアを提供し、日常生活の安全・安楽を確保するとともに、社会参加の継続を支援	<u>43 について</u> ・スタッフの知識・スキルの強化 ⇒医療的ケアや緊急時対応の研修の実施、連携体制の強化、傾聴の実施、振り返りの実施 <u>44 について</u> ・スタッフの知識・スキルの強化 ⇒終末期の看護/介護スキルの向上、家族支援のスキル向上のた

	することで、利用者と家族が安心して暮らせるよう努めている。	めのコミュニケーション力を身につけるための研修の実施。
--	--------------------------------------	------------------------------------

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表〔事業所自己評価・運営推進会議における評価〕

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	5	21	1	1	・医療ニーズの高すぎる方まで、支援ありがとうございます。医療機関との連携をよろしくお願いします ・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできています	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	24	2	0	・皆様のこの仕事に対する信念と誇りを感じます ・おおよそできていると思います。 ・評価に相違ありません ・良くできています	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	②	12	8	6	・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・普段のコミュニケーションの中で、各個人が目標を持って行動していると聞かない ・不定期ではあるが、指導を受けるなど、話し合いはできている					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	④	18	5	1	・参加できないのは、忙しいためかと思います ・よくできている ・評価に相違ありません ・わからない	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・研修は積極的に情報共有されているが、あまり参加できていない					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情	⑦	19	2	0	・これが特徴と考えています ・よくできている	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・カンファレンスはきちんと開催され、議事録もしっかり作成されるが、開催が平日日中のみのため、夜専としては参加する機会がなく、残念に思う ・申し送り、カンファレンスで情報共有している ・スマイルで共有 ・考えや意見を発言する人が限られていると感じる。意見しやすい環境づくりが充分ではない ・日常的にカンファレンスを行っている ・カンファレンスはしっかりできており、ファイルに残して、参加できない場合でも共有できている				・評価に相違ありません ・わからない	✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	②	21	3	1	・前向きな助言につとめます ・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできています	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・運営推進会議へスタッフの出席、会議内容をスタッフに伝達。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	⑧	18	2	0	・ 安心して働くことができる場が評価されており、良いと思いました。 ・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ 良くできています	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	⑥	16	6	0	・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ 良くできています	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		いない ・スマイルの申し送りが流れてしまう ・毎日の申し送りの他、記録を確認できる					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	⑥	22	0	0	・基本ですので、よろしくお願ひします。 ・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできています	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・委員会で検討 ・朝のカンファレンスで伝える ・対策の勉強会実施、マニュアルはあるが、職員全員に周知できているか疑問に思う時がある ・インシデントの情報共有をしている					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	⑩	15	2	0	・まず、本人と家族の安全を大切にしてください ・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマ
		[具体的な状況・取組内容] ・災害避難訓練での役割分担を細かく決めて実践した方が良いと思う ・マニュアル作成					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・BCP についての研修/訓練の実施 ・連絡リスト作成 ・マメールのテスト ・想定内の緊急時対応準備はできているが、全職員、利用者及び家族と共有できているか不安 ・研修が一度あったので、少しは認識ができた ・緊急時の体制、システム、対応など、オリエンテーションで共有されている					ニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	⑥	19	3	0	・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で きて いな い	全 く で きて いな い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	④	17	7	0	・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできています	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	⑦	21	0	0	・この施設の方針も理解していただき、決定も複数での関わりと考えます ・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	⑥	21	1	0	・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできています	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	⑥	22	0	0	・ 不明な点は、かかりつけ医へしっかり確認をお願いします。 ・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ 良くできています	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ かかりつけ医と連携をとりながら、予後予測等を踏まえた計画を作成しており、本人や家族にも説明をしている					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	⑦	20	1	0	・ 医療機関への連携をお願いします ・ よくできている ・ 評価に相違ありません	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 状況変化に応じ、適宜サービス内容やケア手順を変更している					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	⑦	17	3	1	・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ わからない	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 前年と変わらず ・ 定期的に自宅を訪問し、生活状況の把握ができています					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そで きて い る	あま りで きて い な い	全 く で きて い な い		
							するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	⑪	17	0	0	・できています ・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容]							
・コミュニケーションツール等を利用し適宜情報共有している。							
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	⑨	17	2	0	・よくできています ・評価に相違ありません ・わからない	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
[具体的な状況・取組内容]							
・専門性が活かされるよう明確に役割分担されている ・取り組んで行われていると思う							
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報	⑫	14	2	0	・できています ・よくできている	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を共有し対応策を検討する など、両職種間の連携が行わ れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護職員と看護職による情報共有はで きているが、介護職は指示待ちの傾向が あい、互いに対応策を検討する形は少な いと思う ・カンファレンスを通して、十分な連携 が行われている ・情報共有、連携されている				・評価に相違ありません	度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている	⑨	17	2	0	・ よろしくお願ひします。大 切です ・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ わからない	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます
④利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説	⑥	21	1	0	・ よくできている ・ 評価に相違ありません	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・声掛けをしながらのケアを行っている				・良くできている	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	⑦	19	2		・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・計画書の内容を分かりやすく説明するよう努めている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	⑦	18	3		・医療機関としても感謝する ところです ・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・手順などわかりやすく図表を作成するなどし、繰り返し指導、ケアを実施している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	⑥	21	1	0	・ありがとうございます。 ・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・定期的にモニタリングを実施し、希望					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		や意向を把握し、柔軟に対応している					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	⑦	18	2	1	・ 充分考えられています ・ よくできている ・ 評価に相違ありません	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 共有されている							
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	⑫	14	1	1	・ 丁寧すぎるくらい大切にされています。 ・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ 良くできている	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 電子カルテに記録し、情報共有している							
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援してい	⑨	18	0	1	・ よくできている ・ 評価に相違ありません	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファ
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 退院カンファレンスへの参加・書類等							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る	による情報共有を実施。本人・家族へ手順書作成し、介護や医療ケアの指導、支援を行っている					レンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	⑨	18	0	1	・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできている	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	⑪	16	0	1	・充実しています ・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	⑥	11	3	8	・これが地域にひろがると良いですね ・よくできている ・いつもわかりやすく事例を紹介いただきありがとうございます。区や包括含め、連携して支援をしていければと思います ・評価に相違ありません ・わからない	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	⑪	12	3	2	・よくできている ・評価に相違ありません ・わからない	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、	4	⑫	8	4	・およそよくできていると思う	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・演奏会の開催、オンラインによる説明会、近隣入居施設での研修会の開催などにより、啓発活動を実施				・評価に相違ありません	✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	⑪	10		1	・ 充分です ・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ わからない	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くなり
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 受け入れている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・資格取得していない介護職には、研修 会参加、実習を行っている					ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	⑩	16	1	1	・ 充分です ・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ わからない	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	⑪	11	0	1	・ よくできている ・ 評価に相違ありません ・ わからない	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	⑦	15	4	2	・よくできている ・地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容については、理解が進んでいくように区も取り組んでいきたいと思います ・評価に相違ありません ・わからない	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	⑬	14		1	・よくできている ・評価に相違ありません ・わからない	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じ	4	⑭	5	5	・おおよそよくできていると思う	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て課題提起や改善策の提案 等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・連絡会や推進会議において、事例紹介/ 検討を通じ、課題提起や改善策の提案を 実施している				・評価に相違ありません ・わからない	します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやインフ ォーマルサービスの開発・活用等、 利用者等のみでなく地域における 課題や改善策を関係者に対して提 案していくなどの役割も期待され ます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出しや 向上のための具体的な取組 等が行われている	2	⑬	6	4	・おおよそよくできていると 思う ・評価に相違ありません ・良くできている	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介 護力の引き出しや向上のための取 組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高める ことにより、在宅での療養生活を 支えていくための環境を整えてい くなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている (10) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (16) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている () 4. 利用者の1/3には満たない () <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・毎月計画についての評価、見直しを実施。	・立派です ・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできている	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている (14) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (12) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている () 4. 利用者の1/3には満たない() <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用ケアが必要になった場合、利用者や家族に対し、わかりやすく図表を作成し、繰り返し指導、ケアを実施している	・感謝しつつ、継続を願っています ・よくできている ・評価に相違ありません ・良くできている	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている (15) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (11) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている () 4. 利用者の 1 / 3 には 満 た ない () 5. 看取りの希望者はいない() <u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ・利用者、その家族に丁寧にかかわり、ケアを実施している。				・感謝しつつ、継続を願っています ・よくできている ・評価に相違ありません	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」